

第1部 特別講演

枝廣淳子 米国元副大統領アル・ゴア著『不都合な真実』訳者
環境ジャーナリスト

不都合な真実 を越えて 「森の町内会」への期待

第2部 パネルディスカッション「森の町内会」からの提案

進行役 枝廣淳子

パネリスト 伊達勝身 岩手県 岩泉町長 桂 徹 三菱製紙(株)社長室経営企画部担当部長
半谷栄寿 環境NPOオフィス町内会 事務局代表



森の町内会シンポジウム

企業と森の新しいパートナーシップ

森林を健全に育むことは、CO₂吸収源対策として、京都議定書の目標達成の上でも大きく位置づけられています。本シンポジウムでは、企業と森の新しいパートナーシップによる森づくりの仕組みを提案します。

2007年7月5日(木) 16:00-18:15 ドイツ文化会館ホール 参加費無料

主催 環境NPOオフィス町内会

お問い合わせ 環境NPOオフィス町内会 TEL 03-5156-0408 E-mail info@o-cho.org URL <http://www.mori-cho.org>



環境NPOオフィス町内会 事務局 宛て

E-mail info@o-cho.org FAX 03-5156-0409

森の町内会シンポジウム参加申込書（6月30日締切）

E-mailでお名前・会社名・部署名・電話番号・メールアドレスをお知らせいただくかこちらの紙にご記入いただいてファックスしてください。

お名前		（他 名）
会社名		
部署名		
電話番号	E-mail	

※個人情報の取り扱いについて

・ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの開催・運営を目的として利用いたします。また、次回シンポジウムのお知らせ等をお送りする目的にも利用いたします。
・当該個人情報は、当会のみが取り扱い、その他の第三者には一切提供いたしません。

会場案内図

ドイツ文化会館ホール
〒107-0052
東京都港区赤坂7-5-56
東京メトロ 半蔵門線・銀座線
青山一丁目駅 A4出口から
赤坂郵便局方向へ徒歩5分



森の町内会について

「森の町内会」は、岩手県岩泉町と共同で、間伐促進のモデルづくりを目指しています。健全な森を将来世代に引き継ぐため、企業と森の新しいパートナーシップの仕組みを実践するものです。オフィス町内会と同じく、多くの企業が一緒になって取り組むからこそできる環境貢献活動として、皆様のご参加をお待ちしております。

「紙」を通じた環境貢献活動

「森の町内会」は、紙を仲立ちとして、間伐を促進する新しい仕組みです。紙の使い手となる「間伐サポーター企業」が、環境貢献の一環として「間伐に寄与した紙」と名付けられた紙を購入することで、費用面から間伐を促進します。「森の町内会」は、間伐材の産地指定によって、通常のビジネスベースでは採算の合わない森でも、間伐を促進することができます。こうして出来上がった「間伐に寄与した紙」は、従来の紙代に比べて10%ほどの負担増となります。一方、この紙を使った印刷物には、「森の町内会」ロゴマークを表示できるほか、間伐促進への貢献を証明する「森の町内会証書」が発行されますので、企業の新しい環境貢献活動として位置づけることができます。

企業と森の顔がお互いに見える仕組み

「間伐サポーター企業」の貢献に応えるため、森づくりの現場は間伐材のトレーサビリティを確保し、どこの森で間伐が実施されたか情報をフィードバックします。2007年5月現在、間伐サポーター企業は16社。「森の町内会」のWebサイトでは、「間伐サポーター企業」の法人名などを紹介しています。

環境NPOオフィス町内会は、1991年の発足から16年間継続して、オフィス古紙の共同回収に取り組んできました。1100社を超える企業が参加し、共同の回収定期便を運行しています。こうした古紙リサイクルの活動を基盤としつつ、2005年より、紙を通じた新たな社会貢献活動として、「森の町内会」活動をスタートしました。「森の町内会」の取り組みから生まれた「間伐に寄与した紙」は、間伐促進の機能を備えています。全ての紙の原料を古紙だけでは賅えないことや、再生紙に過度な品質を求めることは環境負荷を高めることにもなりかねないことから、古紙パルプと環境に配慮したフレッシュパルプを用途に応じてバランスよく使うことが大切と考えます。紙のリデュース・リユース・リサイクルとともに、紙の向こうの森を思いながら、「間伐に寄与した紙」を使ってください。

お問い合わせ 環境NPOオフィス町内会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-5 新橋TSビル2F TEL 03-5156-0408 E-mail info@o-cho.org URL <http://www.mori-cho.org>